

園芸部

ハウス内の環境を知ることから初めてみませんか？
―誠和のプロファインダーⅢ(環境測定装置)―

今まで経験と勘で行っていたハウス管理を、データを基に管理することで、より最適なハウス管理が可能となります。

ハウス内の4つの環境因子(温度、湿度、CO₂、光)を測定しグラフ等で表示することにより、ハウス内環境の状態および変化を視覚的に理解することができ、問題点や解決策を見つけることが可能となります。

プロファインダーⅢの特徴

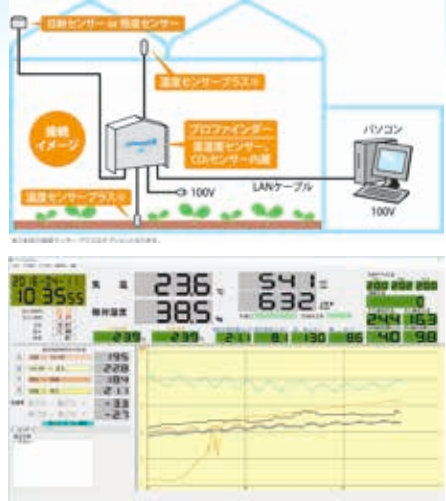
特徴1…測定(温度、湿度、CO₂、光をリアルタイムに測定)

特徴2…表示(測定した数値をグラフで表示することができ環境の変化が目で確認可能)

特徴3…記録(測定したデータをパソコンで記録)

特徴4…算出(測定したデータより平均気温、積算気温、飽差、露点などを算出)

特徴5…比較(過去のデータを同時に表示し比較が可能)



環境変化をグラフで表示

導入された生産者の声

・環境を測定してデータを確認すると、いままでは思い込みで環境を管理していた。平均気温や時間別平均気温の意味を理解すると、温度管理に対する考え方や管理方法が大きく変わった。飽差を理解して測定することで、湿度管理の考え方が大きく変わり病害の発生が減り増収となった。



燃料部

電力小売り事業スタート！
―全国初となる農家向け電気供給開始について―

平成28年4月から電力小売が全面自由化され、全農グループでも平成28年6月に全農エネルギー(株)が小売電気事業者を取得し、当県本部とも連携して電力推進にあたってきました。

この度、平成29年2月に全国初となる農家向け電気供給が始まりました。

今回電気供給が始まったのは、郡山市田村町にある(有)鈴木農園です。同農園では主になめこを生産しており、照明用LEDや冷暖房用の電力として年間約4,000万円の電気代がかかっておりました。

全農エネルギー(株)による電力診断の提案を受け、電気代を削減できることから電力切替に同意いただき、平成29年2月1日から供給開始となりました。

同園の鈴木社長は「以前より生産費の削減を考えていた。今後の効果に期待している」とのコメントをいただきました。現時点では高圧の営農施設のみ診断は可能となっておりますが、今年中には低圧の施設の分析も可能となる予定です。その際にはJAを通じ農家の皆様へご案内させていただきます。

今後JA全農福島は、石油・ガス・電気といったエネルギーのバستمックスを模索しながら、営農コストの低減に取り組んでまいります。



なめこの生育を確認する鈴木社長

3月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ぐれあい食料
おすすめ
レシピ

まずて作る焼きコロッケ



●材料は2人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材料

・塩ます切身……………2切
・じゃがいも……………4個
A 〔オリーブ油……………大さじ1
塩コショウ……………少々

・パセリのみじん切り……………大さじ2
・オリーブ油……………大さじ1
・こしょう……………少々

作り方

- ①まずは耐熱皿にのせてラップをかけ、電子レンジ(600W)で約2分加熱し、粗熱が取れたら皮と骨を除いてほぐす。
- ②じゃがいもはラップで包み、電子レンジ(600W)で4～5分加熱する。熱いうちに皮を剥いてよくつぶし、Aを加える。①とパセリを加え混ぜ、食べやすい大きさに等分してたわら形に成形する。
- ③フライパンにオリーブ油を熱し、②を色よく焼く。皿に盛り、こしょうを振って出来上がり。

今月のイベント

3月4～5日	管理部	JA全農杯チビリンピック2017
3月5日	消費地販売部	川崎フロンターレ開幕戦イベント
3月7～8日	管理部	JAグループ国産農畜産物商談会
3月26日	管理部	福島ユナイテッドFCホームゲーム

お詫びと訂正

JAぜんのうふくしまだより2月号「第43回福島県花き品評会表彰式・花きセミナー開催(P5)」の掲載写真は、東北農政局長賞のJA福島さくら 佐久間幸一さんでした。深くお詫び申し上げます。

ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

3月6日	燃料部	JA-SS年間キャンペーンの展望
3月7日	畜産部	営農相談室
3月13日	燃料部	LPガスで快適生活
3月14日	生産資材部	営農相談室
3月20日	畜産部	肉豚の販売状況と飼養管理
3月27日	米穀部	平成29年産米取扱方針について



東北地方の長期予報



<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。東北太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。東北日本海側の降雪量は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、平年並または高い確率ともに40%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

2月25日～3月24日

【気温】東北地方	20	30	50
【降水量】日本海側	40	40	20
太平洋側	40	30	30
【日照時間】東北地方	20	40	40
【降雪量】東北日本海側	40	40	20

<気温経過の各階級の確率(%)>

2月25日～3月3日	20	40	40
3月4日～3月10日	20	40	40
3月11日～3月24日	20	40	40

凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)
(仙台管区气象台 発表)

編集後記

テレビ取材の立会で雪柳の開花施設にお邪魔しました。園場から株ごと掘り起こした雪柳は、ハウスの中で約2週間加温し、青々としてきた頃に、一斉に切り取って選花します。北海道から沖縄まで、全国のお客様に届く時には、ちょうど白い可憐な花が咲くとのこと。出荷直前まで根がついたままのため、花持ちも良いのだそうです。

ハウス内の雪柳は緑が鮮やかでまさに春。一方、ハウスの外はみぞれが降るあいにくのお天気。寒々しい帰路の途中、直売所で手にした雪柳もまだ蕾がほとんどでしたが、開花を待つ楽しみもまた一興。白い花が咲くにつれ、きっと春の足音も少しずつ聞こえてくることでしょう。